

第4回熊谷市総合戦略有識者会議

2016.8.24

■議事（意見交換）

発言者	発言要旨
小林委員	3-3-2 英語のラウンドシステムについて詳しく教えてほしい。
事務局	ラウンド＝繰り返すという意味で、一つの教科書を1年間で4回繰り返す。繰り返すうちに話す・聞く・内容を理解する能力が身につくということで、取り入れられたものである。
小林委員	RWCに向けて子供たちが躊躇せず外国人に対応できるようになると思う。良い取組だと思う。
戎居委員	2-2-6 転入促進のための「熊谷で暮らす」の配布15,000部は、効果があったのか。
事務局	数値としては、はっきりした効果は把握していない。市としては、このようなパンフレットを作成し、PRすることが必要と考えている。
嶋野委員長	<p>「冊子によって、転入をした」という検証はなかなか難しい。東京のふるさと回帰センター等に配布している。市長先頭にシティセールスの一環として駅で配布することなども考えている。</p> <p>今年は策定後の検証の初年度であって、主だった成果はなかなか出てこない。その中でも若年層の住宅購入に係る固定資産税の免除については、27年度で590人、28年度で656人と2年で約1,000人が、制度を活用して熊谷市へ転入されている状況である。また三世代のふれあい家族住居取得は、現在までに733人が制度を利用しているが、これは待機児童対策の側面もあり、祖父母と同居・1キロ以内に近居する場合の支援制度である。</p> <p>2年目に入る現段階で、ある程度の成果が出ているといえる。</p> <p>【熊谷で暮らす 冊子を委員へ配布】</p>
藤間委員	<p>各分野ごとに設定されたKPIは、いずれも補助金との関係で出されたものと思う。誘致企業35社だが、実は大きな企業が撤退している。実数で伸びたかどうかは地域産業力である。</p> <p>起業・創業であるが、商工会議所で年間50社が廃業・倒産している。商工会も同様だろう。これは構造的な問題であり、中小企業が成り立たないという背景がある。従ってこうした戦略が正しいかどうかという検証もする必要がある。例えば女性就労だが、市内の実業高校の卒業生の地元定着率が4割を切っているというゆゆしき状況である。しかもUターンは熊谷以外に出て行ってしまっている。</p> <p>商業振興においても、物売る店舗は壊滅状態でかろうじてサービス業が存在している。全てのKPIが実態を見る数値として適切かどうか、この地区の産業をよくするんだということをどこかにタイトル等に出していかないと分かりにくい。全て木の話で森が見えない。森＝産業をどのようにしていくか、よく見えない。次回までに、これらのKPIが産業を振興する裏付けになっていなければ総合戦略になっていけないと思う。</p>
嶋野委員長	<p>総合戦略の補助金の対象は27年度、16事業が対象となっている。この交付金制度は、通常の国庫補助のように、国が制度を作り、それを実行する自治体に交付されるものとは違い、その逆で、地域創生に該当する市の事業に国が補助するという制度である。</p> <p>すなわち、この有識者会議等を経て作り上げた熊谷市の独自の制度・施策を、国が地方創生に当たるとして補助事業として認定されたということを御理解いただきたい。</p>
大久保委員	1-1-1~4 現状はわかったが、企業側の反応はどうかをわかったら教えていただきたい。

	<p>1-1-8 茶豆のブランド化の取組は行田市でもやっている。加工業者は多いが生産者がいない。加工業者からは、加工したいが物が無いのだと聞く。生産者に目がいていないように思うがいかがか。</p> <p>1-4-2 空き店舗活用支援は妻沼地域に力を入れて新規店舗を増やしている。行政も一緒になって動いていただきたいと思う。民・民で貸し借りをを行う場合には、信頼性という問題がある。</p> <p>2-1-6 新幹線通勤助成の反応はどうか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>企業誘致については、本社機能の誘致により、正社員が増えることで定住促進になると考えている。同様に雇用についてもパート労働者の雇用より正社員雇用の場合に支援を手厚くすることで、同様に定住促進になると考えている。しかしながら4月からの条例改正であることもあり、周知という面では過渡期にあり、不動産業者の協力を得ながら周知に努めていきたい。</p> <p>茶豆のブランド化については、生産者を増やしたいと考えているが、まだ時間を要すると考えている。</p> <p>空き店舗については所管課の話でも、貸し手がないという問題が大きいということに認識している。行政の関わり方は、活用促進に向けて検討させていただきたい。</p> <p>新幹線については、企業アンケート調査と一緒にパンフレットを同封している。不動産業者にも配布しているが、現状では2件の助成を行っており、その他数件の問い合わせをいただいている。</p>
嶋野委員長	<p>これらは転入の附則的な部分であって、根本的な転入の要因になっていないというのが弱い部分である。</p>
大久保委員	<p>新規就農だが、農業大学の卒業者にも新規就農者がいると思う。来年度の卒業予定者にもいると聞いている。熊谷の学校を卒業しなくても、熊谷で農業をやりたいという人もいると聞く。始める人は農家でない人が初めて農業をやる場合に、やり方がわからず、市に相談しても反応が返ってこないという。「住居の確保」「農地の確保」と言っても具体策が見えない。卒業してやりたいと思っても不安であると聞く。良いことだと思うので積極的に取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>住居の関係は、今年度の空き家調査を経て、農村部で住める場所のデータを収集したい。農地調査も、今年度は市内全域の農地所有者に対して、今後の農地の活用方法、貸すか貸さないか、アンケートを行っている。窓口で相談に来られる方への対応と並行して、受け入れ態勢の整備を進めている。今後、パッケージとして相談機能を充実できればと考えている。</p>
嶋野委員長	<p>空き店舗・空き家が熊谷市は遅れてしまっている。全自治会にお願いして、空き家をリストアップしていただいている。一般住宅として活用可能か、農地と一緒に提供できるか、整理をして今後希望者へ対応したいと考えている。</p>
笠原委員	<p>農業大学校が出来たことで期待をしている。直近で30代の方の就農があった。国から助成金もあるので、活用して入っていただいた。農業は志があってもすぐ独り立ちは難しい。受入れ側の体制、空き家や農地を提供することを進めたい。農地は今後もっと増えていこう。妻沼地域は農地は多く、ほかにも提供を希望している人はいる。後継者が多く入ってきていただくことが課題ととらえている。</p>
竹本委員	<p>農業高校からの新規就農はここ数年ゼロである。卒業後、進学の後には就農するものは何名かいる。妻沼茶豆の話があったが、6次産業の取組の中で、地元農家と連携しながら、学校や地域のPRになるよう取り組んでいきたい。</p>
宮前委員	<p>空き家は全国版空き家バンクが出来ると聞いている。農地の調査は県でも行っているようである。新幹線通勤は、新幹線代は企業側が負担していることも多いと思う。</p>

嶋野委員長	新幹線補助は、企業側で負担がない方が対象となっている。
長又委員	暑さ対策の「暑いぞ熊谷」はシティセールスとしていかなものかと思っている。
嶋野委員長	「暑い」は、かつては一つの資源として全国発信してきたが、定着して人口減少の状態になった時に、暑くて住みたくないという話をよく聞く。今は「暑さ対策日本一」いうことで情報発信を進めている。
大谷委員	<p>総合戦略では上向きの情報もあって良かったと思う。3つの基本目標はそれぞれの方向に向いていて、リンクしていくことはないという感想を持った。</p> <p>働くお母さんの立場では、法改正で、0.1.2歳のこどもを預けやすくなった。しかし正社員の雇用促進や企業誘致から考えた場合、働き方の選択肢はなく、保育士が不足する現状で、仕事と子育ての両立が可能なのかどうか、市の考えを聞きたい。こどもの具合によって休んだり早退しがちな正社員の母親ばかりにしわ寄せがっていないか。企業側の問題もあると思う。</p>
嶋野委員長	保育所の関係では、全国的に待機児童が課題であり、受け入れる「スペース」の問題や預かる「人」の問題がある。人の問題に対しては、現在、お子さんの病児保育の検討をしている。保育士の処遇の改善については、国、県の動きも踏まえ検討していきたい。
大谷委員	病児保育は、なかなか機能していないと感じる。保育士も数が足りないのが現状だ。
嶋野委員長	この問題は今後も検討していきたいと思う。
藤間委員	総合戦略有識者会議の側面は平成30年度からスタートする総合振興計画の骨子づくりも含まれる。総合振興は熊谷市が生き残ることで、総合戦略とイコールではない。総合振興計画には、人口減少対策だけではない要素を相当盛り込まないといけないと思うがいかがか。
事務局	まさにそのとおりであって、総合戦略は人口保持という視点で5年という期間限定で策定されたものである。総合振興計画は10年というある程度長いスパンでまちづくり全体を考えるものである。有識者会議の委員さんからもご意見いただきながら策定していきたいと考えている。
嶋野委員長	まさに木でなく森を作ることが総合振興計画になると考えているので、委員さんには今後も意見をいただきたいと考えている。総合戦略に関しても、この事業で完結ではなく、ご意見を反映させて加除したいと考えているのでよろしくお願いします。